

## まちづくり提言コンペ<表彰式>の開催

2018年12月3日(月)15時30分~16時30分、熱田区役所3階301会議室にて「まちづくり提言コンペ表彰式」を開催します。

### 【まちづくり提言コンペ】

「まちづくり提言コンペ」は、名古屋学院大学全学部1年生を対象とした全学生・教員参加型教育イベントです。1年次必修科目である「基礎セミナー」の共通テキストで地域(名古屋市熱田区・瀬戸市)の課題を学び、その解決策をレポート(パワーポイントA4・1枚)にまとめます。そして、提出されたレポートは、学内選考を経た後、地域の行政職員が優秀作品を選出し学生を表彰します。新入生が、早い段階からキャンパス周辺の地域に愛着を抱くようにすること、また課題解決能力や提案力の育成を目的としています。

### ■ 2018年度受賞者(レポート提出/全学部合計671件)

#### ◀最優秀賞▶

『名古屋学院大学児童館オープン!』/外国語学部1年 柴田佳美 【担当教員】有菌智美 准教授

#### ◀優秀賞▶

『過去と未来のハイブリッド観光地』/現代社会学部1年 山田優武 【担当教員】玉川貴子 准教授

『放置自転車を無くして「住みやすい」を実感できるまちに』/経済学部1年 田中佑樹 【担当教員】家本博一 教授

### ①テーマ

## 過去と未来のハイブリッド観光地

### ②アイデア

### ③アイデアの特徴・メリット

熱田区の空家の件数は決して少ないとは言えない。空家は地域の安全性を脅かす種ともなりうる。これを民権として、リメイクし区画として管理下に置き、高齢化の進む熱田に生活している人を雇い、生活をいとして海外の方を出迎える最初の窓口として、担ってもら。熱田にある駅の一つに「神宮前」があるが、これが中部国際空港とつながっている。これを利用して、感懐の民権を用意、海外の方の日本旅の最前線に日本文化、体験断として利用してもらう。これは名古屋の特色に由来する。日本の物理的中心にいても過言ではないこの愛知県の交通の便は、東京と大阪を繋ぎつないで、しかしこの両県の宿泊業と観光地との関係は、比例するようものである。また、近年完成予定のリニアは、より東京とこの地の距離を近くする。歴史的にも、尾張、三河の地は日本を結ぶうえで重要拠点であり、これはぜひ海外の方にも見てもらいたい。しかし、名古屋市熱田区にはもう一つの障害があると考えた。

## 【まちづくり提言コンペ<表彰式>の開催】

■ 開催日時 : 2018年12月3日(月) 15:30~16:30

■ 開催場所 : 熱田区役所3階301会議室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

■ 参加者 : 丹下昌彦(熱田区長)、小林甲一(名古屋学院大学学長)

他 熱田区職員5名、名古屋学院大学教職員8名、学生3名

### <内容詳細に関する問い合わせ>

名古屋学院大学社会連携センター TEL : 090-4238-4380 担当/杉山